



連結業績予想 >>>

連結売上高

“経営統合により売上高が大きく伸長”

通期の連結売上高につきましては、24,450百万円と、前期実績15,089百万円に対し、株式会社JIMOSを子会社として連結開始したことにより、9,360百万円の増加(62.0%増)を見込んでおります。

株式会社JIMOSとの統合に伴い、特にコマース事業においては、同社の中核事業である通販事業の収益が計上され、期初計画売上高に対し、大幅な超過を見込むこととなります。

一方、既存事業であるモバイルコンテンツ事業やソリューション事業、および海外事業は、当中間期での進捗率が各事業の期初計画売上高に対し概ね50%の水準にあることから、これら事業については現時点において堅調に推移しているものと判断しております。ソリューション事業においては同社の通販支援事業やECサイト開発関連事業収益を新たに計上することもあり、一層の伸長を見込んでおります。また、コマース事業におけるモバイルコマース分野や広告事業といった新規事業においては、引き続き中期経営計画における戦略を推し進め、早期収益化に努めております。

(単位:百万円)

(連結)	前期実績	当期予想	増減
売上高	15,089	24,450	+9,360 (+62.0%)
営業利益	△247	(注)概算500	+747 (一)
経常利益	35	△1,850	△1,885 (一)
当期純利益	△143	△7,200	△7,056 (一)

(注)営業利益につきましては、業績予想値としての正式発表はしていません。

連結経常利益および当期純利益

“営業利益の貢献は見込む一方でのれんの追加償却が大きく影響”

連結営業利益は5億円程度を見込むものの、当中間期に計上予定の主に株式会社JIMOS株式評価損に係るのれんの追加償却の影響により、通期の連結経常利益は、前年同期実績35百万円に対し1,850百万円の損失計上(前年同期比1,885百万円減)を見込んでおります。

さらに当下期において、同社株式に係る概算46億円ののれんの追加償却(注)を特別損失として計上の予定であり、通期の連結当期純利益は、前年同期実績143百万円の損失に対し、7,200百万円の損失(前年同期比7,056百万円減)を見込んでおります。

(注)株式会社JIMOSを株式交換により完全子会社とした際の同社株式に対する当社の取得価格は、企業結合会計基準に則り、同社との株式交換契約締結日(2006年5月15日)直前の株価を基に算定しております。一方、その後の同社株式の市場価格の著しい下落や事業環境の変化、また、株式交換による完全子会社化に伴う非上場化に鑑み、当下期において固定資産の減損に係る会計基準に基づき、損失の計上を予定するものであります。

2006年5月25日に発表いたしました当期予想につきましては、株式会社JIMOSとの経営統合後の計画を当初より反映しておりませんでした。一方、当下期以降の連結業績においては、同社業績を完全に連結することとなり、2006年11月17日付にて当期予想を修正しております。

